

大きな敷地の中に立派な建物がデー
ンと構えていて、そこに多くの人が
参拝するものだと思っていました。
ところが、内宮(ないくう)、外宮(げ
くう)というエリアがあったり、10
0以上の神宮の総称が伊勢神宮だっ
たり。知れば知るほど興味がわかま
す。

かつては庶民の一世一代の大イ
ベントだったお伊勢参り。家財を売り
払ってでも一生に一度は…との意気
込みで参拝していたそうです。何が
庶民の心をひきつけたのか、体験し
てきたいと思います。

有名な十返舎一九の「東海道中膝
栗毛」では、「ご存知弥次郎さん、喜多
さんが江戸・
八丁堀から十
一泊かけて向
かったことに



なっています。さて、一泊二日の現代
版お伊勢参り、どんな珍道中になる
やら。

歯科の専門分化？

訪問中にある歯科医院の看板に目
が留まりました。診療科目が書いて
あったのですが、「一般歯科、小児歯
科、老人歯科、矯正歯科、審美歯科
ホワイトニング、インプラント、予
防歯科、歯周病科、訪問歯科、レ
ザー治療、スポーツ歯科」。その他に
も顎関節症や噛み合わせのことにつ
いても記してあったような気がしま
す(とても覚えられません)。よくぞ
並べたなあと感心してしまいました。
と言っても大病院ではありません。
ふれあい歯科とそんなに規模の変わ
らない診療室でした。

ただ、よく見てみると、矯正や審美
歯科、インプラント、そしてレーザー
などはうちで取り入れる気はありま
せんが、その他のものはうちの診療
室でも対応しています。僕はそれら
をまとめて「歯科」と考えています。

医科は、専門分化が進んだために
医師不足が広がり、大病院に行くと
朝から晩までいろんな科をまわらな
くてはならないということが起こっ
ています。医師の視野が狭くなった
ことも否定できません。もちろん良
い部分はあると思うのですが、医療
を受ける者にとってプラスだったと
思えません。歯科は小さな範囲であ
りながら食えるという人間にとって
大切な機能をサポートする使命があ
ります。変に分化したりせず、「歯科」
という王道を貫けばいいと思うので
すが。